

株式会社 中本製麺 様 有限会社 浜崎製麺所 様 株式会社 ますだ製麺 様

うどん製麺の温湿度管理

うどん製麺の乾燥工程で活躍! 高湿地域でも効果発揮! 品質向上、生産性アップに貢献!

長崎県五島列島は古来遣唐使時代の寄港地であり、麺伝来の地と伝えられています。歴史のある五島列島のうどんは約30年前より「五島うどん」として全国各地に広まり、根強い人気を持っている商品です。そのような五島うどんの製麺所3社に当社の冷却機能付産業用除湿機をご採用いただきました。

株式会社 中本製麺 様

ご採用形名：RFH-P10A1×2台

2017年に完成した福江島の中本製麺様新工場は、1日約200kgのうどんを製造しています。麺の乾燥工程では温湿度の管理が不可欠。そこで新工場のうどん乾燥室(80m²)2部屋に当社の冷却機能付床置形除湿機(10馬力)を1台ずつご採用いただきました。

創業当初は天日干しで乾燥工程を行っており、約20kg/日の生産量でした。しかし、除湿機を利用することで生産効率が向上し、現在では約200kg/日の生産が可能となり、うどん製造に欠かせない存在となっています。また、五島列島は特に夏場は高温多湿となり、コンクリート土台の建屋では湿度が下がりにくいです。そのような気候の際も除湿機を使用することで、天候に左右されず、質の良いうどん作りを実現しています。



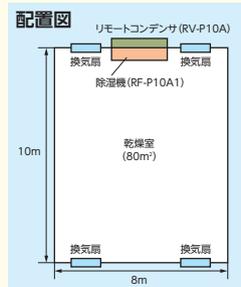
▲10馬力タイプ。吹出しタクトを取り付け、天井面から空気循環を行っている



▲2017年10月に完成した新工場



▲商品の一例



有限会社 浜崎製麺所 様

ご採用形名：RFH-P10A1×3台, RFH-P5A1×2台

浜崎製麺所様では約1000kg/日のうどんを製造しています。五島うどんは釜茹でが主流のイメージが強いですが、浜崎製麺所様は油を使用せず、冷たくても美味しいうどんを製造しています。

冷却機能付床置形除湿機を合計5台ご採用いただき、1部屋約160m²の乾燥室に5馬力タイプ・10馬力タイプを1台ずつ設置されています。うどんのひび割れを防ぐため、乾燥工程を3段階に分け、室温を20℃~24℃で維持した上で、設定湿度を第1工程70%、第2工程65%、第3工程55%とし、除湿機の使い分けをしています。



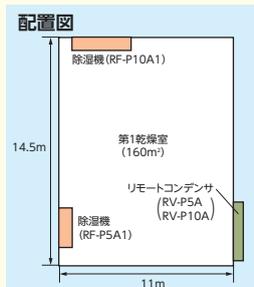
▲乾燥工程は3段階に分け、設定湿度を時間によって変更



◀ドレン水は配管を通して、室外へ排水



▲商品の一例



◀うどん乾燥室

株式会社 ますだ製麺 様

ご採用形名：RFH-P10A1×1台, RFH-P5A1×2台

ますだ製麺様は1976年創業の老舗五島うどん製麺所で、全国各地の百貨店に五島うどんを卸しています。風土に合わせた作りたてのうどんを消費者へ提供する上で、乾燥工程における温湿度の管理はとても重要です。

2017年10月増築した乾燥室(約100m²)に当社の冷却機能付床置形除湿機(5馬力)をご採用いただきました。高湿時に除湿機を稼働し、温度15~20℃・湿度65%を維持しています。

また、完成品倉庫にも同除湿機(10馬力)をご採用いただいております。出荷前のうどんの品質を維持しています。



▲5馬力タイプ。うどん乾燥室(約100m²)に1台設置



▲2017年10月、増築した乾燥室建屋



▲完成品倉庫にも除湿機を使用、製品の品質維持に貢献



▲商品の一例



お客様の声

株式会社 中本製麺 工場長 中本 和広様



うどんの製造では温湿度の管理が重要で、室温が高いとうどんが傷みやすく、逆に低いと乾燥が遅くなります。高湿地域である五島列島では除湿機なしでは、生産量に限界があります。特にゴールデンウィーク、お盆、年末前は繁忙期であり、また長崎県波佐見町の焼き物市では約30年前から五島うどんをご愛顧いただいております。大量生産が必要なたため、除湿機の使用は不可欠です。

有限会社 浜崎製麺所 代表取締役 浜崎 祥一郎様



1993年に現在の工場に生産拠点を集約し、冷却機能付床置形除湿機の使用を開始しました。時間によって除湿機の設定湿度を変え、うどんを徐々に乾燥させています。当初は除湿専用の除湿機を使用していましたが、冷却機能付除湿機にしたことで、湿度に加え、温度管理もしやすくなりました。

株式会社 ますだ製麺 常務取締役 舛田 好伸様



約30年前からうどんの製造に除湿機を使用しており、乾燥工程では主に湿度が高くなる夜間(22:00~)に除湿機を稼働させています。うどんの乾燥具合によって、除湿機を稼働させる時間の長さは異なりますが、除湿機を用いることで質の良いうどんを生産できます。特にこだわりの生うどんは温湿度管理を徹底しなければならず、除湿機を用いることで温湿度を管理しやすくなっています。

提案者の声

株式会社 植木機械
代表取締役 植木 伸也 様

うどん製造において、乾燥室の湿度管理が重要であることに加え、乾燥室の温度上昇により、うどんが傷むことを防ぐため、温湿度を管理できる冷却機能付除湿機を採用しました。また、室外に設置するリモートコンデンサは海岸に近い土地では耐塩害塗装をおすすめしています。2・3・5・10馬力とラインアップが充実しているため、施主様の建屋の間取りに合わせて選定が可能です。



▲五島列島は長崎市から高速船で約1時間30分